

奈良工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	実用技術英語（電気電子・情報系）	
科目基礎情報							
科目番号	0020		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	システム創成工学専攻（電気電子システムコース）		対象学年		専1		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	配布プリント						
担当教員	高橋 明						
到達目標							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		英語で技術論文を記述できる。		英語で技術内容を説明できる。		英語で技術内容をせつめいできない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
JABEE基準 (d-2a) JABEE基準 (f) システム創成工学教育プログラム学習・教育目標 C-2 システム創成工学教育プログラム学習・教育目標 D-1							
教育方法等							
概要		各自の研究内容を英語の論文に仕上げることを目標にして、論文の構成、英語の表現方法、正確な考查、まとめの順番に学んでいく。					
授業の進め方・方法		論文全体の構成に続き、各パートでの注意事項を例題を示しながら進めていく。題材は各自の卒業研究の内容を英訳することから始める。					
注意点		当該分野の英語論文を読んでおくこと。					
学修単位の履修上の注意							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス、論文構成の説明			論文の全体構造をつかむ。	
		2週	実験方法と結果の記述の説明			追試が可能な記述について学ぶ。	
		3週	英語による実験方法の発表 1			4人を目処に発表	
		4週	英語による実験方法の発表 2			4人を目処に発表	
		5週	英語による実験方法の発表 3			4人を目処に発表	
		6週	考察の説明			正しい推論について学ぶ	
		7週	英語による考察の発表 1			4人を目処に発表	
		8週	英語による考察の発表 2			4人を目処に発表	
	4thQ	9週	英語による考察の発表 3			4人を目処に発表	
		10週	緒言の説明			研究内容の意味合いを伝えることを学ぶ	
		11週	英語による緒言の発表 1			4人を目処に発表	
		12週	英語による緒言の発表 2			4人を目処に発表	
		13週	英語による緒言の発表 3			4人を目処に発表	
		14週	題名と要旨の説明			全体を言い表す表現を学ぶ	
		15週	期末テスト				
		16週	テスト返却				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100
基礎的能力	50	50	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0